



友達と一緒に走るの楽しいな。



たくさん跳べるようになってきたよ。



コーンを踏まないように走るよ。

「元気で笑顔体操」手洗いやうがいも上手にしているよ。



1月から始まった芝生でのマラソンは、毎日の生活の楽しいスタートになっています。初めは、全力で走ってはすぐに歩いていた幼児も、繰り返し取り組む中で、最後まで走り続けることや7分弱の間に芝生を何周回れるか友達と競うことなどを楽しみながら、走り切った喜びやたくさん身体を動かす心地良さを味わっています。毎日の積み重ねの中で、喜んで身体を動かすことができ、足腰も鍛えられるでしょう。マラソンを始める前に比べると、縄跳びやフラフープなどたくさん跳んだり、回したりすることができるようになっていきます。走る際、かかとに適度な刺激が加わることは、骨作りに有効とされ、しっかりと足を付けて走る経験が、体力の向上や体幹を養うことにもつながっています。

マラソン後に面白い走り方をしていた幼児のアイデアを紹介し、コーンを踏まないように跳んだり、ジグザグに歩いたりする遊びも楽しみました。友達の遊びのひらめきが広がり、幼稚園児みんなで遊ぶことにもつながっています。遊びが広がりそうな場を意図的に捉えていくことで、幼児の意欲はさらに高まり、『考えたことを試す→友達と楽しさを共有→新しく考えたことを試す→より大きな楽しさを共有』このような中で、「してみたい」、「次はどんなことをしようかな」と考えたり、想像したりする力を育てています。

マラソン後は、みんなで集まって「元気で笑顔」体操をします。走った後の汗の始末や手洗い、うがいについての意識も高まり、発汗を実感する場面を生かして、自分たちが必要性を感じて行おうとする気持ちが高まるような場づくりをしています。